

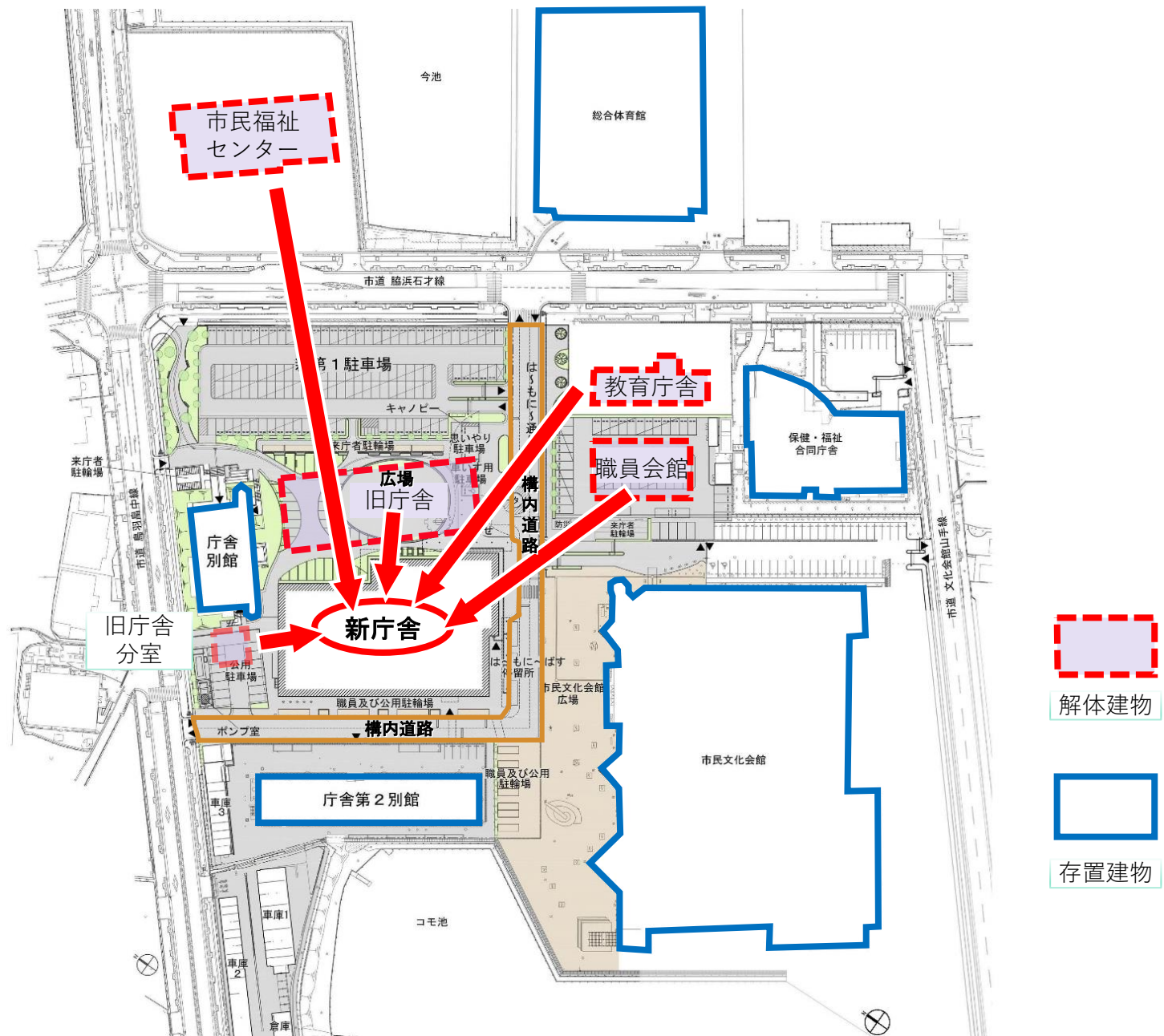


貝塚市役所



所在地	貝塚市畠中1丁目55-1、194-1
建築主	貝塚市
敷地面積	16084.01 m^2
建築面積	2684.83 m^2
延べ面積	12525.28 m^2
構造	鉄骨造
階数	地上6階

貝塚市役所



解体面積と新築面積と比較し、約20%の延床面積の削減

市民が交流し、憩いの場となる複合機能を備えた庁舎
市民が親しみをもて、利用しやすく、機能的な庁舎
市民の安全・安心を支え、環境にもやさしい庁舎





市民広場 市民交流の場となるほか防災広場などにも対応し、市民活動を支える。



過ごしやすい市民広場とする為、大庇・キャノピーの設置



従前の庁舎より引き継いだモニュメント等を設置



庇下にベンチを設置する等憩いのスペースとして整備

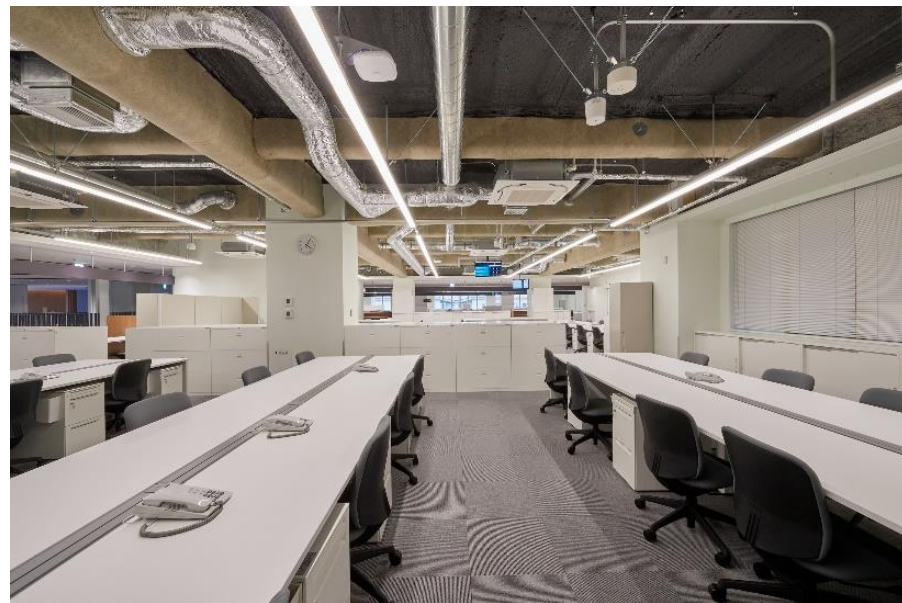
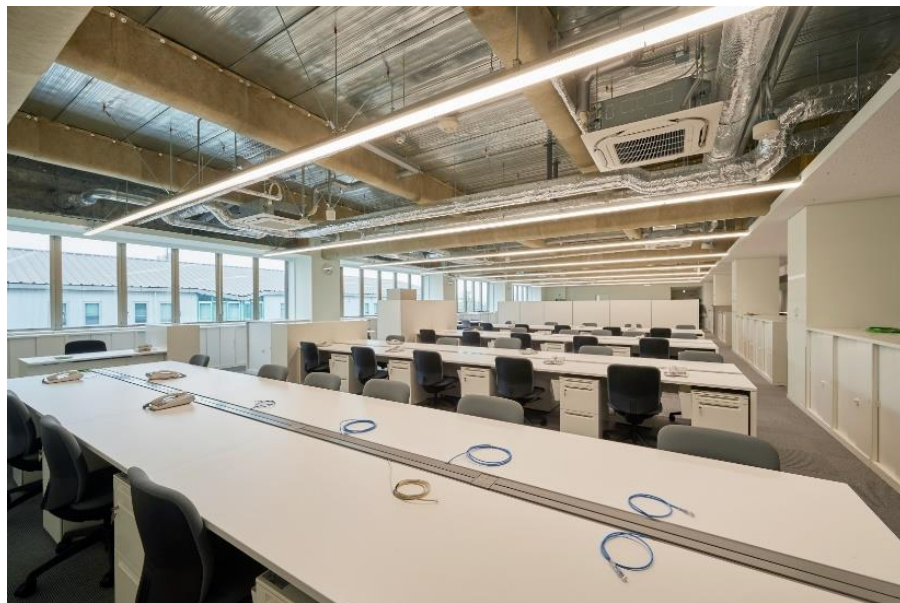
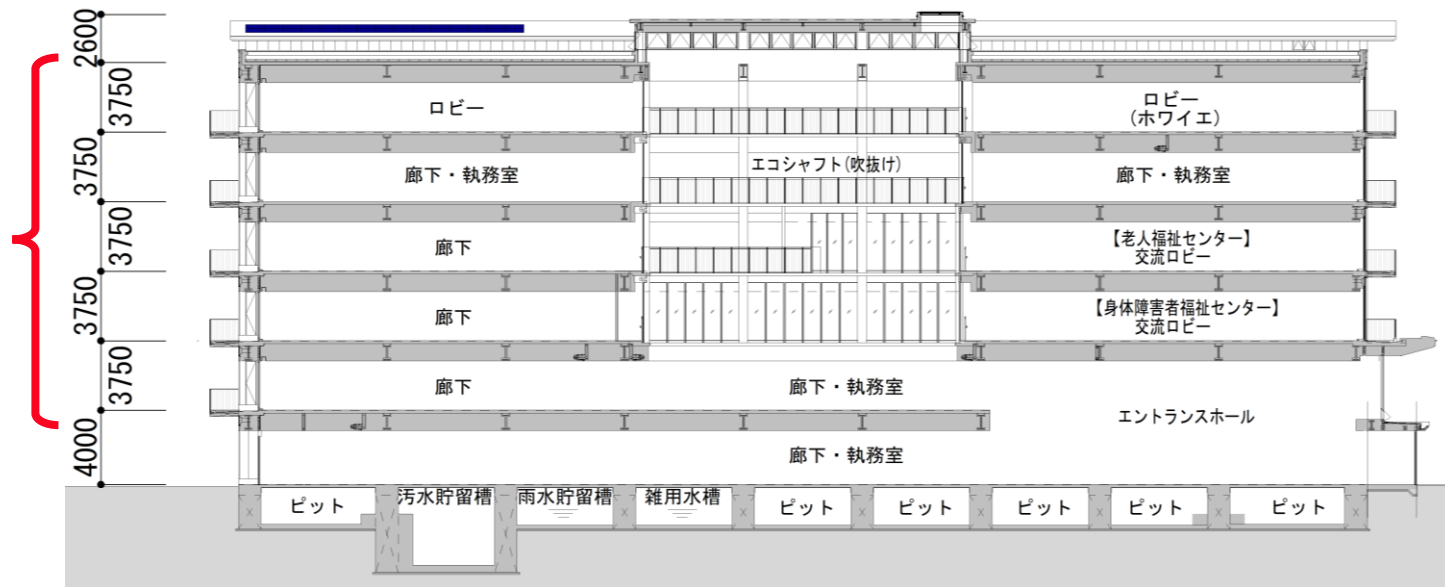


平地で伸びやかな景観に合わせ、水平ラインを強調した大庇・キャノピーを使った外観



庁舎のエントランスホールと連続した市民広場

基準階階高を抑え
建物高さを低くする
コンパクトな計画

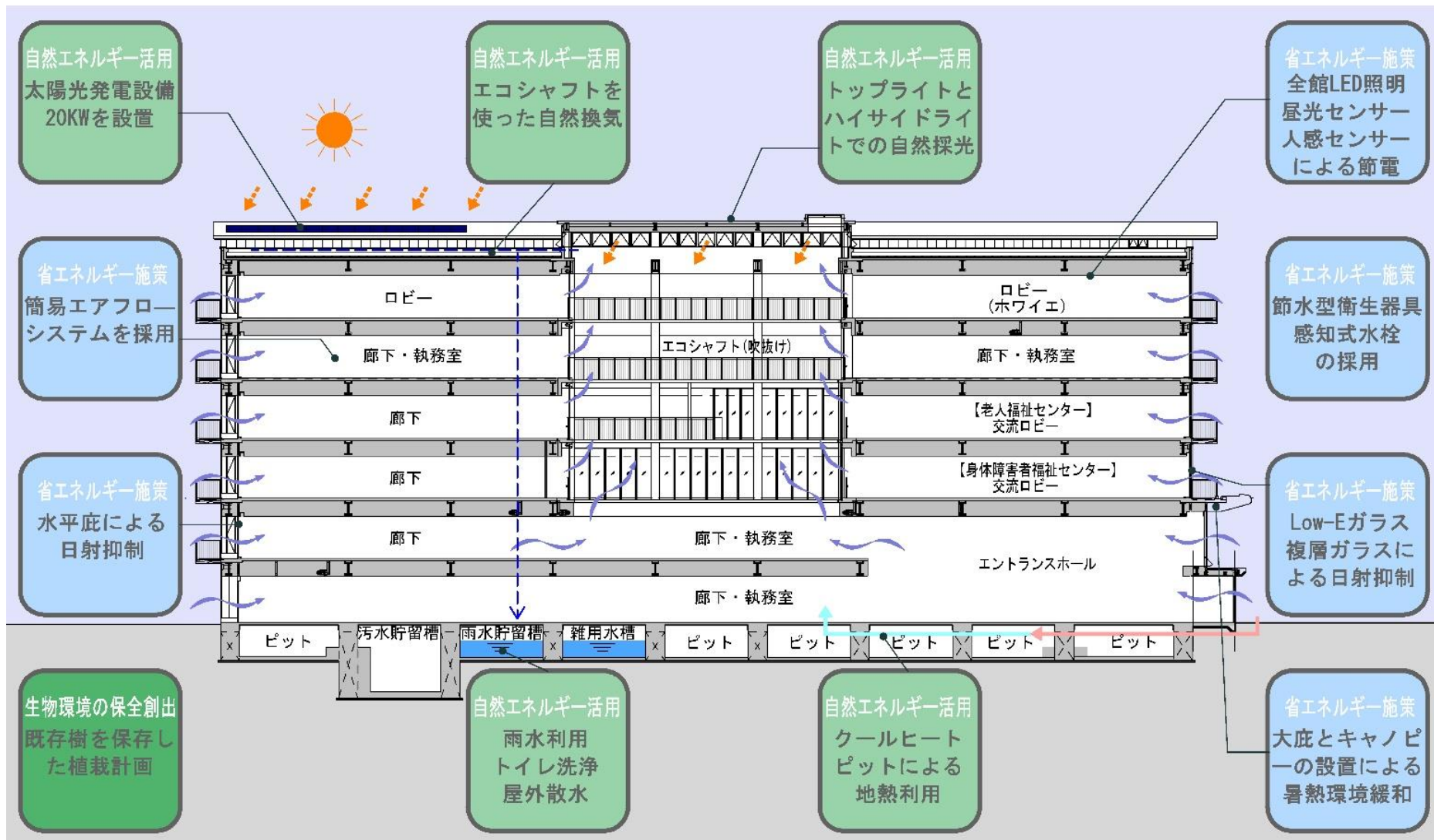


執務室を天井レス化し設備機器のメンテナンスの省力化

省エネルギー施策

自然エネルギー活用

生物環境の保全創出



省エネルギー施策

自然エネルギー活用
太陽光発電設備
20KWを設置



自然エネルギー活用
エコシャフトを
使った自然換気

自然エネルギー活用
トップライトと
ハイサイドライト
での自然採光

省エネルギー施策
全館LED照明
昼光センサー
人感センサー
による節電

省エネルギー施策
簡易エアフロー
システムを採用

省エネルギー施策
節水型衛生器具
感知式水栓
の採用

省エネルギー施策
水平庇による
日射抑制

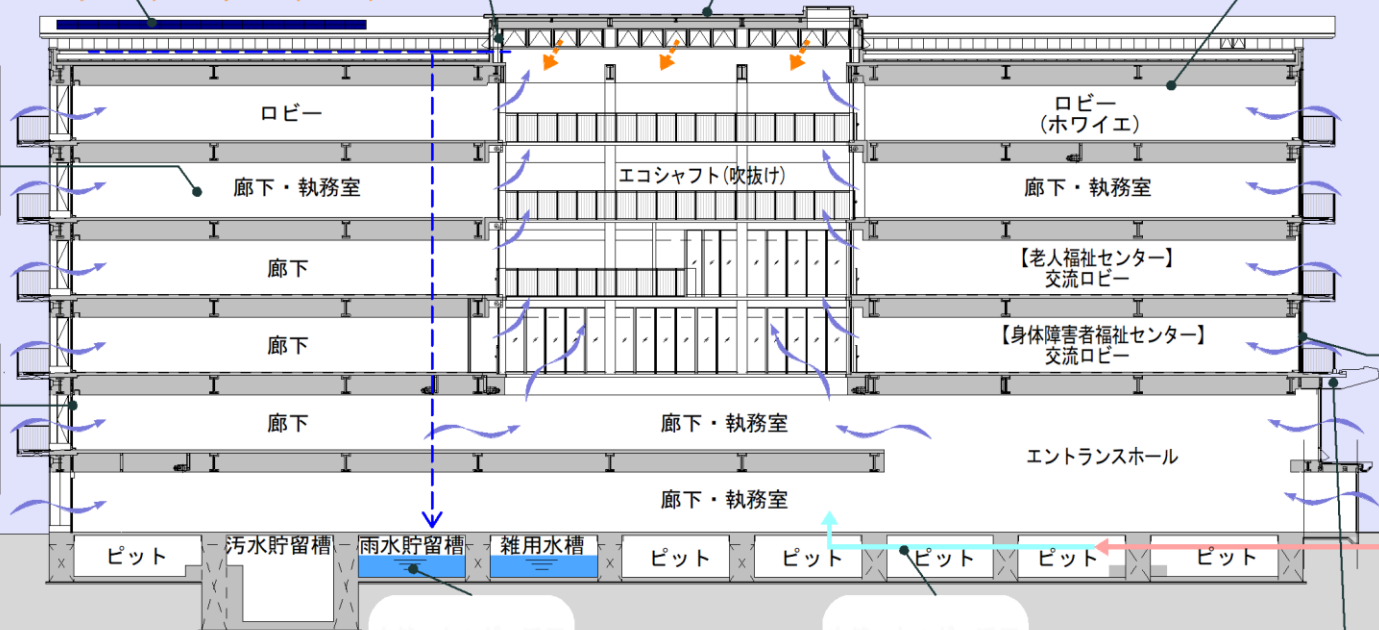
省エネルギー施策
Low-Eガラス
複層ガラスに
よる日射抑制

自然環境の保全創出
既存樹を保存し
た植栽計画

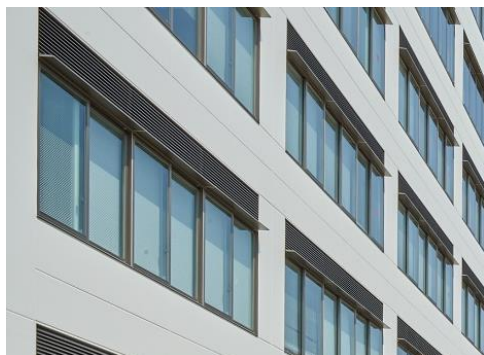
自然エネルギー活用
雨水利用
トイレ洗浄
屋外散水

自然エネルギー活用
クールヒート
ピットによる
地熱利用

省エネルギー施策
大庇とキャノピー
の設置による
暑熱環境緩和



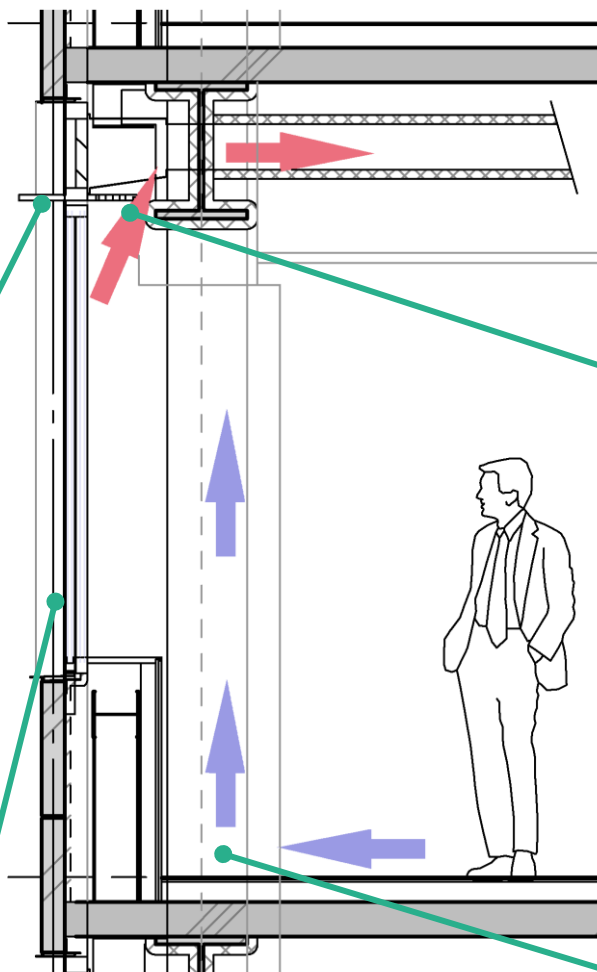
省エネルギー施策



南面窓に小庇を設置し日射を抑制



Low-e複層ガラスによる日射を抑制



南面窓では夏期の暖気をブラインドボックスから回収



北面窓では冬期の冷気を巾木から回収

窓廻の日射抑制と空調負荷低減

省エネルギー施策



省エネルギー施策



大庇・キャノピーによる日射抑制と敷地内歩行者空間の暑熱環境緩和

自然エネルギー活用

自然エネルギー活用
太陽光発電設備
20KWを設置



自然エネルギー活用
エコシャフトを
使った自然換気

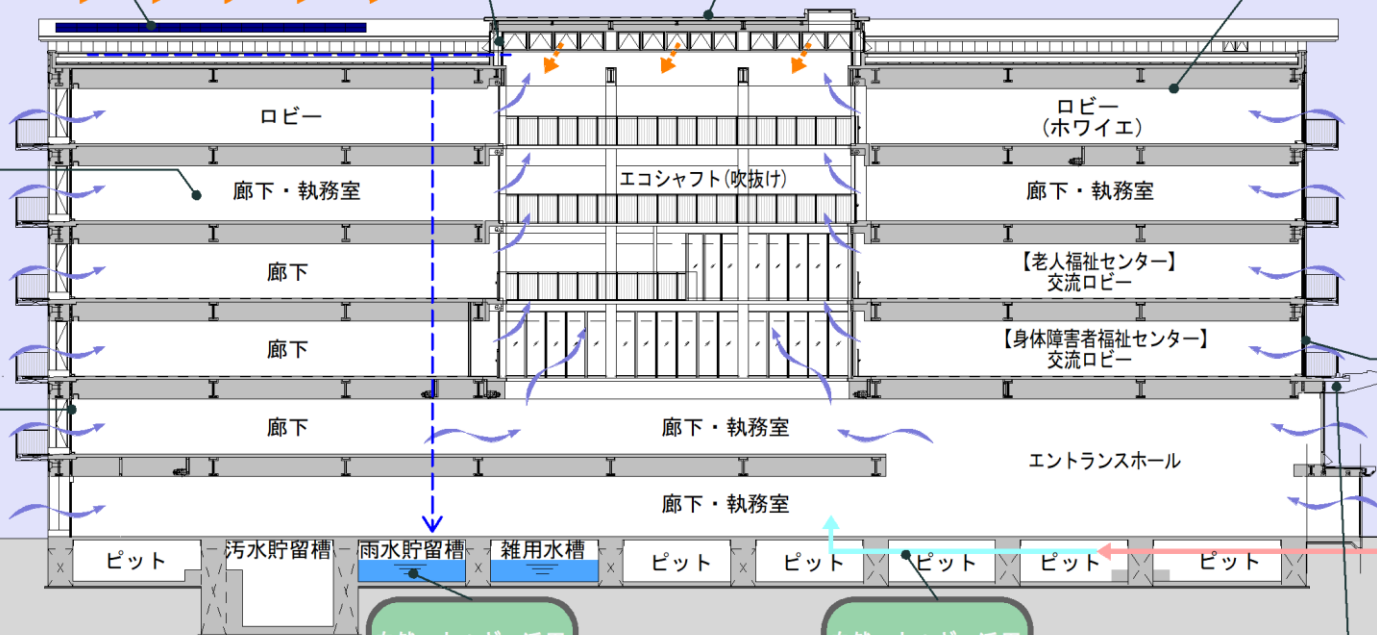
自然エネルギー活用
トップライトと
ハイサイドライ
トでの自然採光

省エネルギー施策
全館LED照明
昼光センサー
人感センサー
による節電

省エネルギー施策
簡易エアフロー
システムを採用

省エネルギー施策
水平庇による
日射抑制

省エネルギー施策
生物環境の保全創出
既存樹を保存し
た植栽計画



省エネルギー施策
節水型衛生器具
感知式水栓
の採用

省エネルギー施策
Low-Eガラス
複層ガラスに
よる日射抑制

省エネルギー施策
大庇とキャノー
ピーの設置による
暑熱環境緩和

自然エネルギー活用
雨水利用
トイレ洗浄
屋外散水

自然エネルギー活用
クールヒート
ピットによる
地熱利用

自然エネルギー活用



エコシャフトによる自然光・自然換気の入



太陽光パネル



ハイサイドライトによる自然光



トップライトによる自然光

自然エネルギー活用



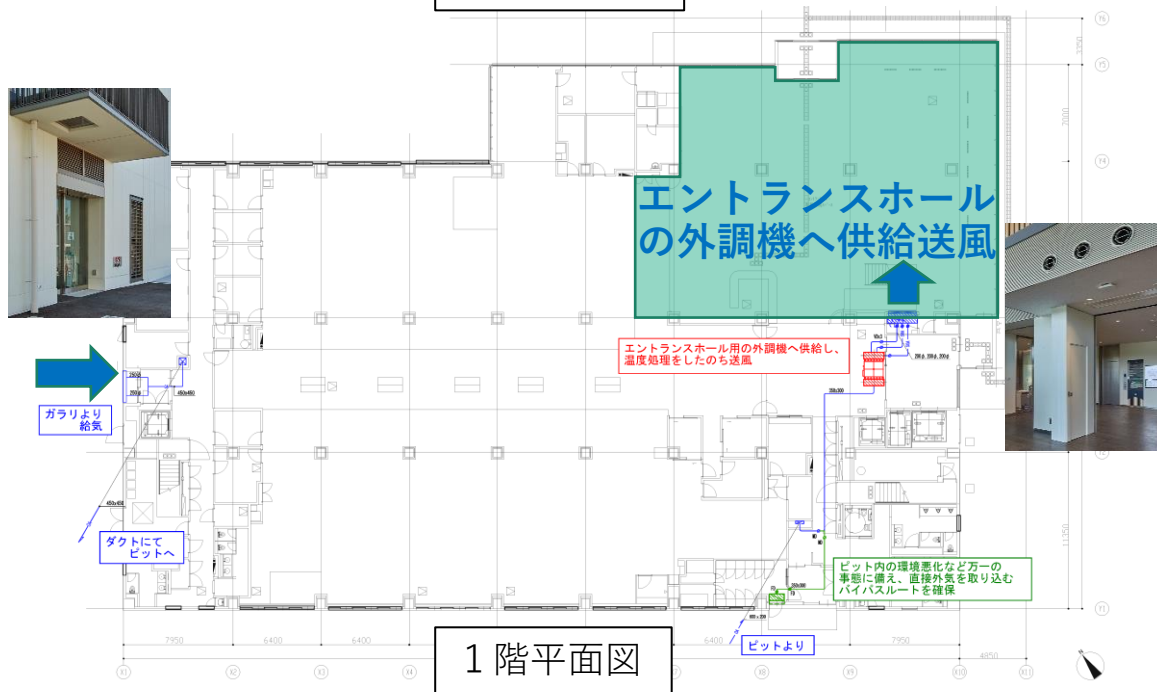
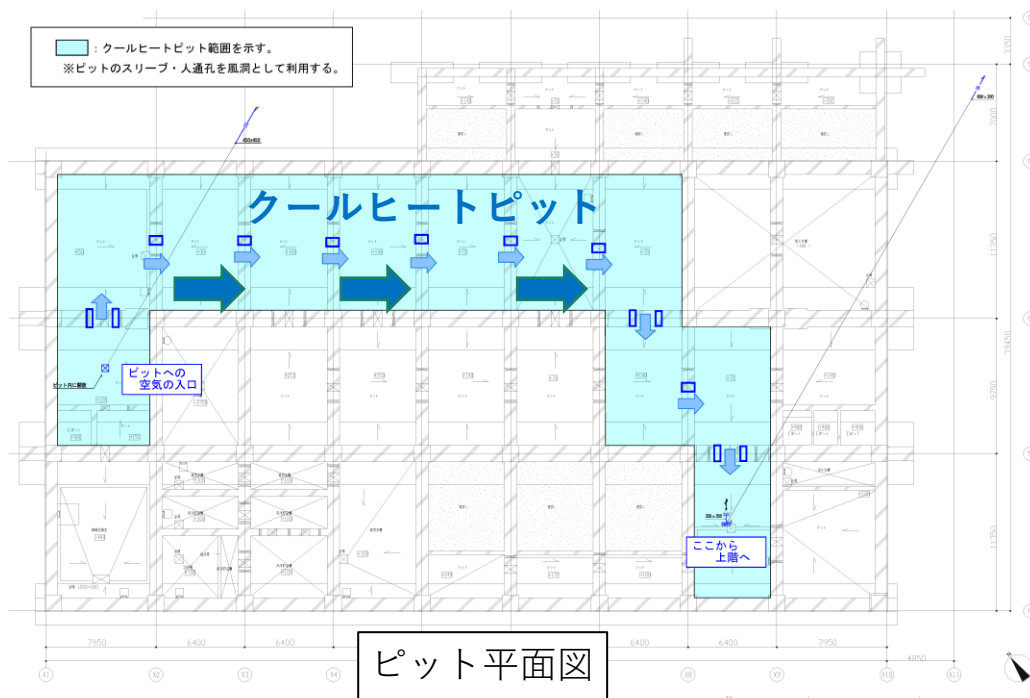
雨水を植栽の灌水に利用



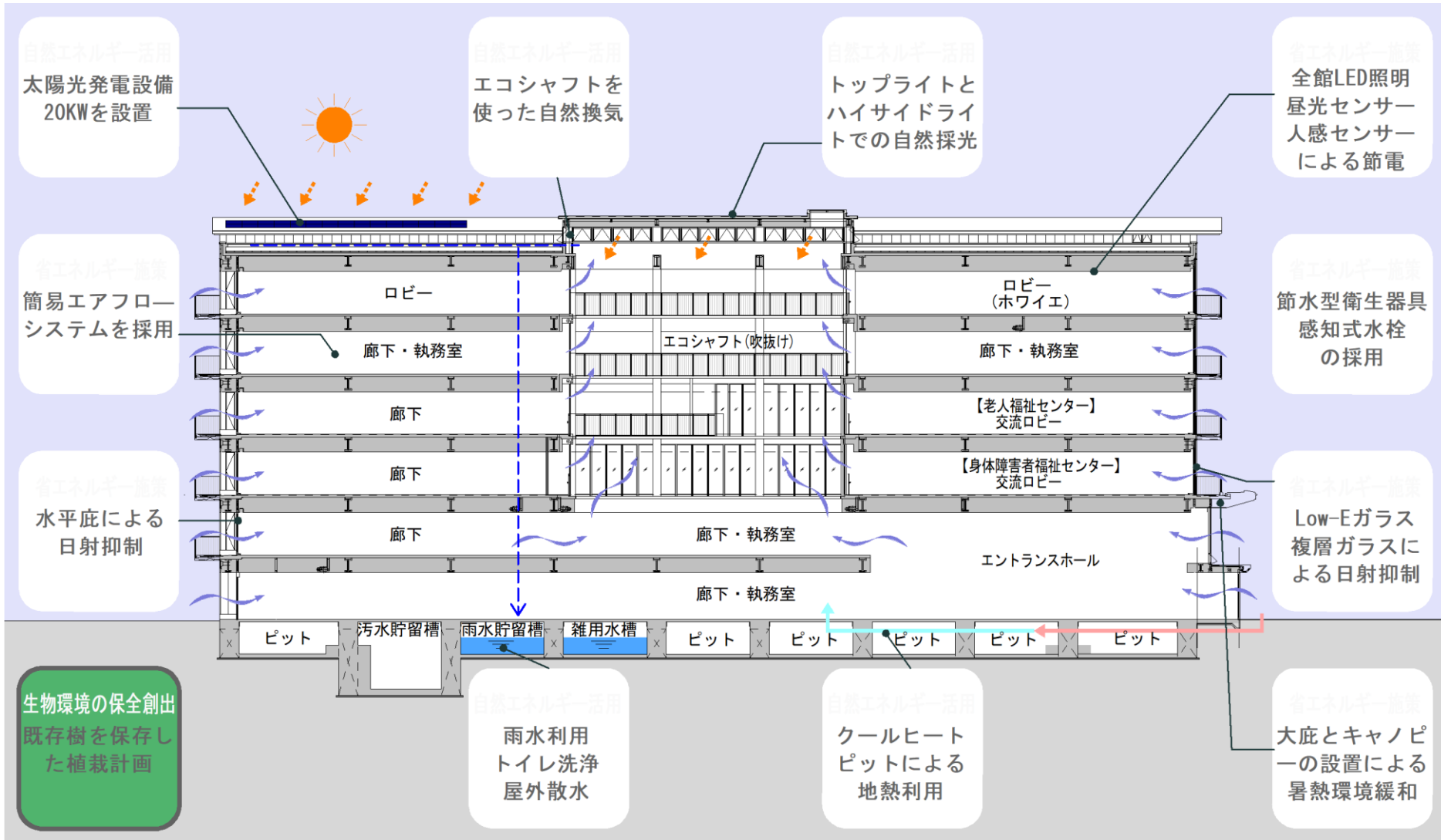
雨水を便所洗浄水に利用



エコシャフト上部の自然換気窓



生物環境の保全創出





ボクハンツバキ カイツカイブキ

貝塚らしさを現わすカイツカイブキと地域性を象徴するボクハンツバキ



内装への貝塚市産の竹材を活用し親しみやすい庁舎を実現

